

KBS 京都ラジオ「笑福亭晃瓶のほっかほかラジオ」出演レポート

～水素エネルギーを身近に活用する未来～

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、2026年3月5日（木）放送のKBS 京都ラジオ「笑福亭晃瓶のほっかほかラジオ」に、ジャパングッズ株式会社 代表取締役・吉永尚平が電話で生出演いたしましたのでご報告いたします。

番組内では、パーソナリティの笑福亭晃瓶さん、中村薫さんとともに、次世代エネルギー「水素」が切り拓く新しい生活の姿について、約18分間にわたり対談形式でお話しさせていただきました。

放送内容のハイライト

1. 水素事業を始めたきっかけ — 震災の経験と「自給自足」への想い

代表・吉永が日本の大学在学中に経験した東日本大震災が原点です。停電による不安を肌で感じ、「自分たちの手でエネルギーを作り、備える」重要性を痛感しました。

その後、中国で実用化されていた水素自転車に衝撃を受け、「日本でも身近な日常生活から水素を普及させたい」という想いで事業をスタートさせました。

2. 長期保存性 — 「エネルギーの缶詰」としての安心

水素は、従来の蓄電池と比べて、長期保管時の自然放電がほとんどないという特長があります。安全な水素吸蔵合金カートリッジに水素を閉じ込めることで、長年保管しても「いざという時」に電気を取り出せる、“備蓄電源”としての可能性についてお話ししました。

3. 新製品「H2PowerBox mini」 — 独自のカートリッジ交換システム

放送では、新発売のポータブル型燃料電池発電機「H2PowerBox mini」をご紹介しました。大きめのリュックにも収まるサイズ感で、カセットボンベのように「カチッ」と交換するだけで発電できる、当社独自のカートリッジ交換システムが特長です。

また、一般的な高圧ボンベとは異なる設計思想のもと、専門知識がなくても家庭で扱いやすい点にも反響をいただきました。防災用途だけでなく、キャンプなど日常でも活用できる“身近な水素”としての普及を目指しています。

4. 環境へのやさしさと「自給自足」が当たり前の未来へ

水素は、酸素と反応して発電する際に「水」だけを排出する究極のクリーンエネルギーです。原料もまた「水」から無尽蔵に作り出すことができ、石油のような資源の奪い合いが起こる心配もありません。太陽光と水さえあればエネルギーが循環する、地球に最も優しい「持続可能な未来都市」の基盤となります。

水から生まれる水素は、資源争いのない平和なエネルギーです。私たちは、大きなインフラを待つのではなく「まずは身近な日常生活から水素を取り入れる」という独自の事業モデルを通じ、すべての家庭にエネルギーの自給自足という「新しい安心」を届ける決意を語りました。

【未来のエネルギーを、今日から。】

放送をお聴きいただいた皆さま、誠にありがとうございました。

弊社は、ポータブル水素電源をはじめ、マイクロ水素発生装置、水素自転車、燃料電池システムなどの革新的な製品を通じて、低炭素社会の実現に貢献してまいります。

また、「まずは身近な日常生活から水素を取り入れる」という事業モデルを通じて、すべての家庭に“安心”を届けることを目指してまいります。

【製品の詳細・お問い合わせ】

製品の詳細や、水素社会を共に創るパートナーシップに関するお問い合わせは、下記よりお気軽にご連絡ください。

ジャパングッズ株式会社 水素事業部

- ・ TEL : 03-6822-4499
- ・ Email : info@jpgoods.co.jp
- ・ <https://www.jpgoods.co.jp>